

ハンドボール

No. 9

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 成年男子
- 成年女子
- 少年男子
- 少年女子

試合
番号

19

年月日	2018年9月17日(月)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公式記録用紙

A				富山県								福井県								B	
福井県				福井市				福井県営体育館								決勝					
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B							
	14	12	28	27																	
7mT得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7mT得点/総数										
	0/0		1 29:25	2 29:38	3	1 19:07	2 16:57	3 24:18	2/2												

No.	富山県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	福井県	G	W	2'	2"	D	DR
1	戸谷 崇志							1	高坂 和						
2	朝野 暉英	6						2	藤坂 尚輝	3					
3	杉本 歩夢		1					3	谷口 尊	7					
4	安平 光佑	6						4	武良 悠希	3					
5	大井 良太郎							5	山田 凌裕						
6	江幡 哉音							6	西田 崇人		1				
7	齋田 礼央	3		1				7	近藤 淳史	5					
8	八木 泰陸	2		1				8	治田 大成	4					
9	林 翼駿							9	水野 雄斗	2					
10	清水 裕翔	11		1				10	鍋島 聖弥						
11	坂 直哉							11	前田 紗良	3					
12	紅出 勘太郎							12	笹本 穰太郎						
役員A	徳前 紀和		1					役員A	福村 正巳						
役員B	酒井 政勝							役員B	洪 徳顯						
役員C	谷内口 功気							役員C	高井 慶治						
役員D	笠尾 淳							役員D	志々場 祐太						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	小田 健介	鈴木 孝明		
T D	竹野 誠司	庄司 勝三		
JHAオフィシャル	福島 亮一			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9 / 13日(木)・14(金)・15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	19
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
富山県			福井県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	14	前半	12	27	
	14	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
	7mTC				

戦評

大会5日目少年男子決勝は、春の選抜・夏の総体を制し三冠を狙う氷見高校からなる富山県と、地元福井県の太応援団を背に8年ぶりに国体決勝の舞台へと戻ってきた北陸高校単独の福井県の対決となった。決勝の会場となった福井県営体育館には3,000席を優に超える観客が訪れ、両者の対決に熱気あふれる声援を送った。

福井県③谷口と富山県⑩清水のミドルシュートの応酬で始まった試合は、④武良の速攻プレーで退場を誘った福井県が先行し富山県が追いかける展開。一進一退の攻防は前半15分で両雄譲らず6-6のイーブンスコアとなった。2:4DFと⑩GK笹本のファインセーブで富山攻撃陣を押さえ込んでいた福井県であったが、富山県⑧八木のポストシュートと速攻で逆転され、今度は追う立場となった。富山県の④安平が巧技で加点し、福井県は⑧治田などのサイドシュートで反撃。息詰まる攻防は残り5分となっても10-10の同点のまま。しかし、終了間際に富山県④安平がミドルを連発し、前半は14-12と富山県がリードして折り返した。

早いパス回しでDFを揺さぶる福井県と、④安平・⑦窪田のミドルを軸に攻め立てる富山県。1:5DFにシフトチェンジした福井県は、③谷口・④武良のシュートブロックから②藤坂の速攻を絡めた連取で追いつき再び同点。後半10分で18-18のタイスコアとなった。中盤の退場機に加点できず、逆にリードされた福井県は、③谷口のステップ⑧治田のカットインで追い続けるが、このゲーム絶好調の⑩清水の活躍などで逃げる富山県は後半17分で23-20と遂に3点差。苦しくなった福井県はGKをベンチに戻しての7人攻撃も含め、打開策を模索するが、国内トップレベルの得点力を持つ富山県は、動じることなくバックプレーヤー全員が交互に得点し、依然3点差のまま時間が経過し残り5分となる。司令塔④安平へのマンツーマンで得点は止まったものの、しっかりと時間を使いきった富山県が肉薄する福井県を振り切って、最終スコア28-27で見事国体制覇と高校三冠を成し遂げた。

記載者氏名

岩元 成憲

送信日時

月 日 () :

送信者署名